

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

| | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-----------|---|---|--|-----------|---------|
| 事務事業コード | 999904 | | 担当部局・課 | 市議会事務局 庶務課 | | | | |
| 事務事業名 | 会議録作成・検索事業 | | | 事業開始(予定)年度 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p style="text-align: center;">評価結果</p> <p>上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。</p> </div> | | | |
| 事業内容 | 年4回の定例会及び数回の臨時会の会議録を作成する。また、配付時期を次期定例会招集日の7日前の議案送付日の同時期とすることを目標としている。 | | | 平成13年度 | | | | |
| | | | | 事業終了(予定)年度 | | — | | |
| この事業の上位施策 | これから5年間のまちづくりプラン | 視点 | — | ⇒ 「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。 | | | | |
| | | 項目 | — | | | | | |
| | | 施策 | — | | | | | |
| 事業の目的 | 身近な地域のまちづくりに市民が積極的に参加できるようにするための条件整備として、市議会での論議を知っていただくため、会議録をより早く、正確に作成し、広く市民の閲覧に供し、情報の共有化を図る。 | | | 予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。) | (款) 議会費 (項) 議会費 (目) 議会費 (事項) 議会活動費 | | | |
| 事業費等の概算 | 平成17年度(決算) | | | 平成18年度(予算) | | | | |
| | 事業費 | 5,500千円 | 財源内訳 | | 事業費 | 5,473千円 | 財源内訳 | |
| | | | 国・県補助金等 | — | | | 国・県補助金等 | — |
| | | | 市債 | — | | | 市債 | — |
| | | | その他(使用料等) | — | | | その他(使用料等) | — |
| | | | 一般財源(市税等) | 5,500千円 | | | 一般財源(市税等) | 5,473千円 |
| 投入人員 | 1.00人 | ⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量) | | 投入人員 | 1.00人 | ⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量) | | |
| 人件費 | 8,566千円 | ⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。 | | 人件費 | 8,566千円 | ⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。 | | |
| 経費合計 | 14,066千円 | | | 経費合計 | 14,039千円 | | | |
| 活動指標 | 指標名(単位) | 会議時間(時間) | | 計画と実績 | 年度 | H17年度 | H18年度 | |
| | 意味・算式等 | 本会議、常任委員会、予算・決算特別委員会、特別委員会等の会議の開催による。 | | | 区分 | 計画値 | 237 | 237 |
| | | | | | 実績値 | 209 | | |